

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科	家庭科	学年	3年
----	-----	----	----

1. 学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家族・家庭生活、消費生活・環境などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する力を身に付ける。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活と家族 ・家族・家庭や地域との関わり ・家族・家庭生活についての課題と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解すること。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わりについて理解すること。 ・幼児とのよりよい関わり方について、考え工夫すること。 ・家族関係をよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫すること。 ・家族、幼児の生活又は地域の生活の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けてよりよい生活を考え、計画を立てて実践できること。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭の管理と購入 ・消費者の権利と責任 ・消費生活・環境についての課題と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。 ・物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。 ・身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。 ・自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できること。

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容について理解している。 ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・小テスト ・授業での課題
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と関連付け、課題とその解決方法について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・発問に対する発言、表現内容
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に取り組もうとしている。 ・生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の記述内容 ・授業内の学習活動全般

(2) 観点と評価の関係

			評価
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	3
A	A	C	
A	B	B	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	
B	C	C	2
C	C	C	1

<評価の注意事項>

家庭科の授業では、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度を総合的に評価します。各観点において、とても満足できる場合をA、満足できる場合をB、努力を要する場合をCとし、各観点の評価をもとに評価を決定します。授業への積極的な取り組みと課題の内容、授業内の技能テスト、小テストなどに全力で取り組んだ結果が最終的な評価となります。基本的に授業で取り扱うものが全てが評価の参考資料となることを念頭に置き、普段の授業を大切にしましょう。

4. 教科に関するアドバイス

学習活動を通して、家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指しましょう。

また、日常生活と関連付けながら学習し、これからの生活に課題をもって、よりよく生活するにはどうしたらよいか考え、工夫しましょう。